

set vol.5

医療法人 平成博愛会 世田谷記念病院広報誌

コラム

リハビリコラム第3回
転倒予防体操

特集 地域の健康のために
世田谷記念病院ができること
医師・スタッフ・当院の機能紹介



世田谷記念病院 理事長
武久 洋三

命を救うことが最大の目的であるのが急性期治療です。急性期治療は進歩を続け、以前は助からなかったような重大な疾病に罹患したり、大きな外傷を負ったりしても救命できるようになりました。しかし、命は救えても、その後の治療やリハビリテーションの質により患者さんの将来は変わってしまいます。

世田谷記念病院は、急性期治療後のあらゆる患者さんを受け入れ、適切な治療とリハビリテーションを提供し、患者さんが再び自宅に戻れるように、2012年に設立されました。

急性期治療後にすぐに自宅に帰ることができない患者さんには、効果的なリハビリテーションを提供するだけでなく、病状悪化を

予防するための日常的な全身管理、病状悪化時の急性期治療能力の全てを兼ね備えている必要があります。当院にはそれを実現できる仕組みがあり、優秀なスタッフも揃っています。

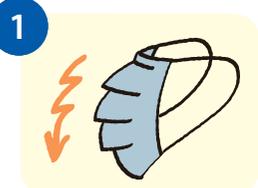
また、医療とリハビリテーションだけでなく栄養状態の改善や薬剤の調整、認知症への対応、退院後のサービス選定、退院後の悪化予防対策など、多岐に渡るきめ細やかな対応が必要になります。当院ではさまざまな専門資格を持つスタッフが知恵を出し合い協力することで徹底したチーム医療を実践しています。

全ての患者さんに、「当院を選んでよかった」と言っていたいただけるよう、さらなる努力を続けてまいります。

咳エチケット
できてますか？

正しいマスクの着け方

感染症予防のためには、日頃の手洗いや手指消毒はもちろん、正しくマスクを着用することが大切です。自分のためだけでなく、周りにいる人にもうつさないように、正しくマスクを着けましょう。



ひだが下向きになる方を外側にして顔に当てます



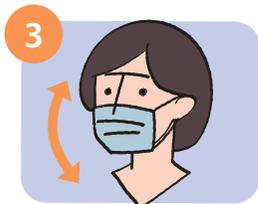
左右のひもをそれぞれ両耳に引っ掛けます



マスクから鼻が出ている

マスクから顎が出ている

これはダメ!! 間違ったマスクの着け方



鼻と顎が覆われるようひだを伸ばします



これで完成!!

鼻のワイヤーを押さえ隙間をなくします



マスクを顎にかけている

マスクをしない

絶対に見捨てない。

いたい、つらい、くるしい、かなしい。

わからない、しらない、なぜ、どうして。

不安なあなたの手を、どうかさしだしてください。

私たちは必ずその手をとります。

助けを求めるすべての人へ、絶対に見捨てない医療を。

setagaya memorial hospital



medical staff & medical services



introduction

地域の健康のために
世田谷記念病院が
できること

◇◇◇◇◇
PART 1

私たちは、
たくさんのスタッフと
充実したサービスで、
地域のみなさんを
支えます。

当院は 2020 年春に病棟設備をリニューアルし
新たな設備と機能のもと、専門スタッフが連携しながら
より適切な治療とリハビリテーションの提供に努めています。
今号では、当院で働くスタッフや、外来・入院機能をくわしくご紹介。
みなさんに、より信頼され、親しんでいただける病院を目指し
地域医療に貢献する取り組みや姿勢をお届けいたします。

たくさんの医師や医療スタッフが 悩みや不安にお応えします

患者さんとさまざまな形で関わる当院スタッフをご紹介します！

昨年より当院に配属、地域包括ケア病棟に在籍しています。患者さんの全身状態管理を行いながら、消化管内視鏡処置、エコーガイド下のCV挿入、CVポート造設等も行います。嚥下内視鏡や排泄の自立にも取り組み、きめ細かい治療を行っています。

内科・消化器肝臓内科
梶山 はな恵



リハビリテーションが必要な高齢者の方は多数の疾患を有していることが多く、総合的な医療が必要です。私は現在、関連施設への往診を担当し、入院が必要な状態を早期に発見することにより、入院期間を短縮して施設復帰できるように診療を行っています。

内科
平井 真明



心臓血管外科・消化器一般外科での研修とともに、プライマリケアでの経験を積み、療養病院勤務では老年医療にも携わってまいりました。経験を活かし、積極的なリハビリテーションが行えるよう全身管理をさせていただきます。よろしくお願ひいたします。

一般外科・総合診療内科
木村 加奈子



2012年の開院以来当院で勤務し、内科を専門に、院内では感染対策に従事しながらみなさんの安全と健康を守ることに努めています。患者さん、ご家族の希望するゴールに対し、きめ細やかな治療、リハビリテーション、環境サービスの調整に取り組んでいます。

内科
志村 陽子



病後、受傷後、手術後の過度な安静は身体機能回復の妨げとなります。極力安静にせず、かつ安全で積極的なリハビリテーションが実施できるようプランを考えます。また、効果的なリハビリテーションに必須となる適切な栄養摂取ができるようサポートします。

整形外科・リハビリテーション科
院長／武久 敬洋



当院には専門分野の異なるさまざまな医師が在籍しています。それぞれの見地から治療を行い、患者さんの不安と一緒に解決します。

専門医として、脳卒中、頭部外傷、義足作成などのリハビリテーションを行ってきました。バックグラウンドに応じたゴール設定、麻痺に応じた器具選定、退院後の家屋環境整備、適切な介護サービスへの移行、復職支援なども行い、適切なリハビリテーションの提供に努めます。

リハビリテーション科
牛場 直子



現在、グループ関連施設への往診業務、産業医業務に携わっています。当院での経験や、消化器医としての専門性も生かし、「『病院勤務医』『地域のかかりつけ医』の双方の顔を持つ」ことを強みに「高齢化社会」の需要に対応できるように努めてまいります。

内科
秦 弘恵



当院では、合併症がありリハビリテーションが困難とされている方々も積極的に受け入れ、全身状態を管理しながら多職種スタッフ一丸となって丁寧に診療、リハビリテーションを行います。身体機能の改善、体調が安定した状態で、次の療養先へつないでいけるよう努めます。

内科・総合診療科
副院長／前田 朝美



脳神経外科医として手術を中心に急性期診療に携わってきました。2016年より当院に勤務し、脳血管障害や頭部外傷後の患者さんが円滑にリハビリテーションに取り組めるようお手伝いします。てんかん外来を設け、この分野でも地域のお役に立ちたいと考えています。

脳神経外科一般・てんかんの薬物治療および外科的治療
副院長／村上 秀喜



心臓外科、救命救急センターと循環器外科を中心に急性期、超急性期医療に関わりながら、慢性疾患やリハビリテーションにも携わり、4月から当院に勤務しています。経験を生かし、日常生活の向上を目的に、充分なリハビリテーションが行える環境を提供いたします。

救急科・抗加齢医学
循環器外科・総合診療科
横室 浩樹



2018年より当院に配属、地域包括ケア病棟に在籍し、一般内科診療を行っています。現在、内視鏡室が新設され、胃ろう造設、胃ろう交換、必要時の検査等にも対応しています。急性期治療後の治療継続を行っています。

内科・消化器肝臓内科
梶山 祐介



私は地域包括ケア病棟で働き、心不全患者さんを診る機会も多いです。特に高齢者の心不全は併存疾患が多く急性増悪の原因になります。当院では急性期治療後、早期の受け入れをし、病態がまだ不安定でも多職種ならではの介入を行い、病態改善に努めます。

内科・総合診療科
四ヶ浦 京子



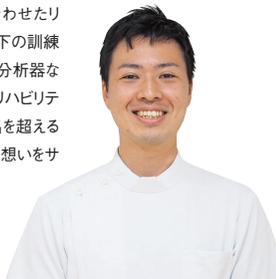
24時間対応の在宅医療で、退院後の自宅療養に不安がある患者さんを支えます。高次医療機関へ通院が必要な方が、副主治医的に在宅医療をご利用いただくことも可能です。住み慣れた地域で生活できる患者さんを増やすことを目指します。

内科・総合診療科
在宅医療部長／佐方 信夫



脳 卒中・整形外科・心疾患・呼吸器疾患など、幅広い病態に合わせたリハビリテーションや排泄・嚥下の訓練を行います。ロボット・歩行分析器などの機器を揃え、先端的なリハビリテーションを志します。100名を超えるリハビリスタッフがみなさんの想いをサポートいたします。

理学療法士
課長／長谷川 奨斗



患 者さんのためになることを精一杯実施することを1番に掲げ、チーム医療で一人ひとりに合ったリハビリテーション提供を行います。チーム医療には患者さん本人やご家族も含まれるということをお忘れず、退院後までの生活を考えながらサポートいたします。

理学療法士
係長／中西 秀人



リ ハビリテーション看護に長く携わり、常に「自分の大切な人だったらどうして欲しいか」と患者さん・ご家族の立場になって考えています。目標とゴールを共有しながら専門職がそれぞれの専門性を発揮することで一日も早い在宅復帰へとつなげてまいります。

看護師
部長／榎並 由香



当院では各職種が連携し、
チーム医療を実践。
みなさんに安心できる
在宅生活を送っていただけるよう、
日々取り組んでいます。

ど んなに重症度が高い方でも「絶対に見捨てないリハビリテーション」をモットーに、嚥下機能評価を早期に行い、経口摂取につなげられるよう取り組みます。高次脳機能障害の方への評価、訓練にも積極的に関わり、在宅復帰や就労支援のサポートを行います。

言語聴覚士
係長／守屋 淳一



病 棟でも薬剤師の活躍が求められる時代になりました。当院では薬剤業務のほか病棟に薬剤師を配置し、服薬指導やポリファーマシー（多剤内服）対策に力を入れて活動しています。患者さんに最適な薬が処方され、安全な治療が提供できるよう努めています。

薬剤師
係長／大谷 一貴



急 性期病院で術後・救急医療を経験し、大切にしてきたことは、患者さん・ご家族ケアです。想いに寄り添うため同じ環境に立ち、辛いときは私たちが手を差し伸べ、嬉しい時は一緒に喜びたいと思います。在宅復帰できるその日まで、共にがんばります。

看護師
副部長／田添 照子



地 域連携室で患者さんの在宅復帰に向け地域の多職種の方々と関わるなか、人は人と支え合って生きていけることを実感しています。優しく、丁寧に、親身に耳を傾けることをモットーに、満足と笑顔につながる支援で、地域に根差した病院になれるよう努めます。

看護師
師長／石井 浩子



診 療放射線技師は、X線装置やCT装置などを操作して検査を行い、病气診断に必要な画像を医師に提供します。当院では、安全かつ安心してリハビリテーションを受けていただくため、腰椎と大腿骨の骨密度検査に積極的に取り組んでいます。

診療放射線技師
主任／瀬賀 拓也



臨 床検査技師は医師や看護師が採取した検体を調べる「検体検査」と、心電図や脳波を調べる「生理機能検査」を行います。当院にはてんかん外来があり、脳波検査が盛んに行われます。検査中は不安や緊張を少しでも和らげられるよう心がけています。

臨床検査技師
服部 智美



入 院や退院後の生活に向かう過程で生じる葛藤や不安に寄り添い「その人らしく生きる」ためのサポートを多職種で協働しながら実践します。患者さんやご家族の人生に関わらせていただいているという自覚と責任を持ちながら看護していきけるよう努めています。

看護師
師長／坂本 信一



患 者さん・ご家族の在宅復帰への不安を取り除き、療養生活の質が向上するように努めてまいります。地域の医療サービスとの連携を深め、「退院後により充実した生活を送れるために病院で調整しておくべきこと」を考えながら、看護できるよう取り組みます。

看護師
師長／長野 岳仁



栄 養管理部（本部）教育学術課で、新たな教育システムの構築（キャリアラダーの導入と活用）や研究の推進により、管理栄養士の更なる資質の向上を目指しています。

管理栄養士
課長／山本 祐子



摂 食・嚥下リハビリテーション学会認定士の資格を活かし、摂食嚥下障害の方が1日でも早く口から食べることができるよう、リハビリテーション・治療を栄養面からサポートいたします。また入院中だけでなく、在宅復帰後も続けられる栄養療法を提案いたします。

管理栄養士
主任／粟田 麻友



患 者さんやご家族に最も近い存在として、オムツ交換や入浴介助等「退院後を想定したケア」を24時間全力でサポートします!「安心」して過ごせる「居心地いい環境」の提供と、ご家族に必要なケアの介助指導も行っています。ぜひ気軽にお声がけください。

介護福祉士
課長／福岡 彩子



患 者さんがその人らしく社会・在宅復帰ができるよう、日々多職種と連携しています。専門性を生かし、在宅復帰を見据えた関わりをモットーに、患者さんやご家族とのコミュニケーションを通して、個別性を重視した目標を一緒に考えています。

看護師
師長／菅野 香麻里



整形外科

痛みというのは他人には理解されにくい症状であるが故に、痛みを感じている本人はより苦しいものです。また、痛みを抱えていることは大きなストレスであり、精神的な影響が出ることも少なくありません。当科では痛みの原因を正しく診断し、さまざまな対処法のなかからその人に合った方法を選択し解決を目指します。

こんな時にご相談ください

- ・捻挫した
- ・腰痛がある
- ・関節に痛みがある

内科

専門性に限った診察をするのではなく、内科疾患全般について広い視野を持って診察を行います。また、病診・病病連携を推進しています。退院後も安心して在宅生活を過ごしていただくために、近隣施設等と連携し在宅サービスを充実させ、切れ目なく在宅復帰へと結びつけることができるよう必要な支援を行っています。

こんな時にご相談ください

- ・熱っぽい（感冒）
- ・高血圧
- ・顔や足がむくむ

脳神経外科（てんかん外来）

てんかん外来では、主に思春期以降の患者さんを対象に、てんかん専門医による診断と治療を行います。

こんな時にご相談ください

- ・けいれん
- ・意識消失など

脳波室が新設されました！

PICK UP



▲脳波室ではてんかん外来のための検査などを行います。

当院で電話診療・オンライン診療が始まりました！

対象となる方

- ▶初診での受付は、発熱や風邪症状などの感染症を疑う患者さんのみ。
 - ▶再診の患者さん
- (※ただし、診察所見、採血や画像検査などの対面診察でしか得られない情報が処方判断に重要である場合や、医師の判断によりサービス利用が不適切と判断された場合は対象とならない場合がございます。)

診察担当医について

- ▶原則として、同一疾患で複数回受診している外来主治医が担当します。
- ▶外来主治医が対応できない場合や主治医が決まっていない場合には、ほかの医師が対応します。

お問い合わせ・ご予約はこちら

03-3703-5100

【受付時間】 月～金曜 9:00～12:00

くわしくはWebサイトをご覧ください／

世田谷記念病院 オンライン診療

外来診療のご紹介

リハビリテーションに力を入れるとともに、てんかん・痙縮の治療などにも取り組んでいます。ぜひお気軽にご相談ください。



PICK UP 実際の 外来リハビリテーションの様子



▲リハビリテーションの様子。患者さんの病状を伺い、最適なリハビリテーションを行います。

リハビリテーション科

神経、骨・関節、内臓疾患などにより何らかの障害をきたした患者さんに対し、診断・評価を行い、専門スタッフが治療・リハビリテーションを行います。理学療法士、作業療法士、言語聴覚士などが多数在籍し、機能改善や障害予防、ホームエクササイズ等、一人ひとりの症状・生活に合わせた専門的なリハビリテーションをご提供いたします。「病院を退院したが急にリハビリテーションがなくなるのは不安」「最近腰や肩の痛みが気になる」などの悩みをお持ちの方はぜひ一度ご相談ください。

けいしゆく 痙縮外来

脳卒中などの後遺症として出現する手や足の痙縮（いわゆる突っ張り）に対して、電気刺激しながらボツリヌス毒素を注射します。約1週間ほどで効果が見られるようになり、3カ月から6カ月その効果は持続します。手や足の突っ張りを改善している間に、リハビリテーションで関節の動きに対してアプローチし、身体を動かしやすくします。手や足が突っ張って使いにくい時や、歩きにくい時にはぜひご相談ください。

PICK UP 痙縮に対する リハビリテーション



▲痙縮になる前の生活を目指し、リハビリテーションを実施します。



入院から在宅復帰後まで、
患者さんを切れ目なく
サポートする体制が
整っています。

地域の健康のために
世田谷記念病院が
できること

◇◇◇◇◇
PART 2

Hospital ward & Home healthcare

地域包括ケア病棟

在宅復帰を目指す方の治療、支援を行います。ご自宅や施設で具合が悪くなった方、急性期病院にて症状が安定したものの退院後の生活が不安な方や、集中してリハビリテーションを受けたい方など、疾患を問わず、在宅復帰を目指す方であればどなたでも受け入れの対象です。疾患に対する治療はもちろん、在宅復帰を支援するためのリハビリテーションを提供します。



入院病棟機能のご案内

2種類の病棟で患者さんを受け入れています。
それぞれの病棟で、在宅復帰を目指すための治療やリハビリテーションを行っています。

回復期 リハビリテーション 病棟

リハビリテーションに特化した専門病棟です。脳血管疾患や整形外科疾患の急性期治療が終了した患者さんを受け入れ、多職種によるチームで質の高いリハビリテーションを提供、心身の回復を図り早期の在宅復帰を目指します。退院後には関連施設や地域病院等と連携し復帰後の生活をサポート。1日のすべてがリハビリテーションにつながるような生活を提供することが特長です。



Check!

入退院時には 地域連携室がサポート

地域連携室では、地域の医療機関および在宅系事業所との連携を行っています。地域の医師からは精密検査の依頼や入院の受け入れを、当院からは、地域の医師への退院後の診療の継続依頼などを通じ、医療情報交換などを行っています。

- ・入退院のご相談 ・介護保険などのご相談
- ・各種医療機関、診療所、福祉施設からのご相談および診療紹介、検査紹介、逆紹介の支援
- ・療養上のさまざまなご相談
- ・当院へのご意見、ご要望など

お気軽に
ご相談ください!



在宅医療サービスのご紹介

退院後も住み慣れた場所で安心して過ごせるよう、訪問サービスを提供いたします。

訪問診療

医師が通院困難な患者さんの自宅へ定期的にお伺いし、安心して療養生活を送っていただけるよう、患者さんの状態に応じた治療や健康管理などを行います。

サービスの一例

点滴や経管栄養、床ずれなどの治療はもちろん、予防接種や血液検査なども行っています。また、お薬の処方に関しては、医師が訪問時に処方箋をお渡ししています。在宅医療に対応している薬局と連携し、自宅へ薬を届けてもらうことも可能です。



訪問リハビリ

入院時から患者さんの状態を把握し、退院後も自宅環境に合わせた最適なリハビリテーションを提案します。



訪問栄養指導

自宅を定期的に訪問することにより、患者さんの病態に合わせた食事の提案や、調理法、食べ方などへのアドバイスをいたします。栄養バランスや食べやすさ、食の嗜好を考慮した献立を提案することで、ご家族・ご本人が安心して食事を楽しめるようサポートします。



訪問看護

病気や障害のある方が、住み慣れた地域や自宅で安心して暮らしていただけるよう、看護師が最適な医療処置やケアを行います。

訪問看護利用例

「退院後月2回の訪問診療だけでは心配」「自宅での生活に慣れるまで様子を見て欲しい」といったご希望に合わせて、看護師が自宅に伺います。定期的な訪問看護が必要な場合は、当グループの訪問ステーション「てとと大岡山」と連携し、継続した看護を受けることが可能です。

てとと大岡山と連携しています！



世田谷記念病院
在宅医療部に関する
お問い合わせ



＼ 利用することなど、お気軽にお問い合わせください！

080-1999-5408

在宅復帰を見据えた 入院中のリハビリテーション

多彩なリハビリテーションを実施し、早期の在宅復帰を目指しサポートいたします。



365日 リハビリテーション

当院では、入院中の患者さんに毎日リハビリテーションを行っています。一人ひとりに合わせたプログラムを集中的に継続することで、機能の回復や日常生活に必要な動作の改善を図ります。

離床への取り組み

入院生活で過度に安静な状態が続くと、身体能力の大幅な低下や精神状態に悪影響を引き起こす「廃用症候群」を招くことがあります。当院ではこの予防のため、趣味や娯楽を取り入れた、楽しみを目的とする離床や、生活に直結する目的のある離床など、徹底した取り組みを行います。目的を持って離床を行うことは、運動や認知機能低下の予防とともに、回復への最大の近道となります。

膀胱・直腸リハビリ

尿意・便意の回復とトイレ動作の獲得は、在宅復帰における最重要課題のひとつです。自らの意志で、自らトイレで排泄を行うという、健康な時であれば当たり前の行為を取り戻すため、入院直後から早期排泄自立を徹底したプログラムを実施します。



摂食・嚥下リハビリ

高齢者は疾病などで状態が悪化した場合、飲み込みの機能が低下し、疾病は治癒したものの、食事ができないために、在宅復帰ができないこともあります。これは、医学的リスクだけでなく、食の楽しみを奪い、QOL（生活の質）の低下も招く大きな問題です。その予防のため、言語聴覚士を中心に、入院後早期から嚥下機能を評価し、適切な食事とリハビリテーションで、機能訓練を行います。

個別・集団リハビリ

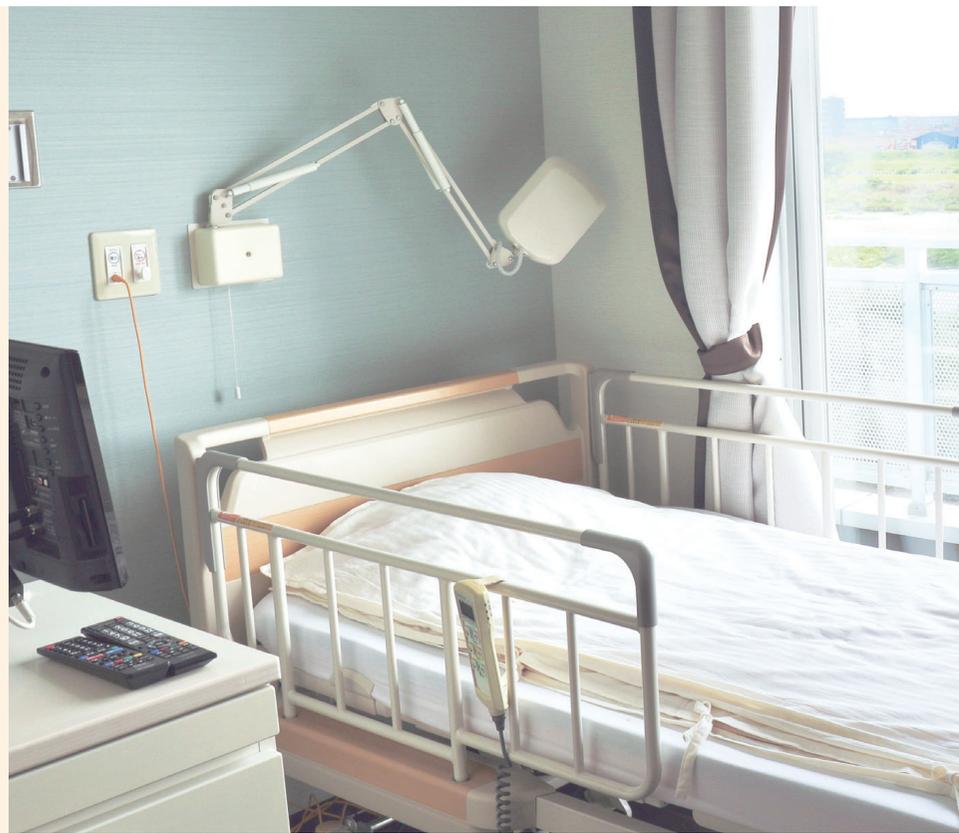
個別リハビリでは、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が一人ひとりに合わせた最適なリハビリテーションで生活動作の維持や向上を図ります。集団リハビリでは、廃用症候群を防ぐため、他者とのふれあいや楽しみの要素を取り入れた複数人によるリハビリテーションを行っています。

ホームワークの推進

個別・集団のリハビリテーション以外にも一人ひとりに応じたホームワーク（自主的練習）を提案しています。患者さんが高いモチベーションでリハビリテーションに取り組めることは退院への近道となるため、積極的に取り組めるような訓練を提案します。

Point Of Care

トイレや着替え、歩行など、日常生活のなかで介助が必要な動作に関して、ピンポイントで専門的なリハビリテーションの提供を行います。個別・集団リハビリに加え、一人ひとりの生活で必要な動作への絞った訓練を行うことで、目標とする動作の早期獲得につながります。



Seiaga Memorial Hospital

5階

入院居室

窓から見える
多摩川の景色

窓の外には多摩川の
河川敷。開放感のあ
る風景を見ながらお過
ごしいただけます

2020年春に
リニューアル!

新しくなった居室

を覗いてみよう

より過ごしやすくなったお部屋で、
入院生活を送っていただけます。
5階と3階それぞれの居室をご紹介します。



患者さん目線で
考えられた使いやすさ
トイレや洗面台、各機器の
使いやすさや動線など、患者
さん視点での部屋作りを心が
けています。



リハビリスタッフが
生活に取り入れたい簡単な運動をご紹介します

てんとうよぼう

第3回は

転倒予防体操

高齢の方の転倒は骨折につながりやすく、重大なケガとなる恐れがあります。
普段から筋力とバランス力を鍛えて、転倒を防止しましょう。
※体に痛みがある時は無理に行わないようにしましょう。



今回の担当は
理学療法士

ケガや病気などで身体に障害のある人や障害の発生が予測される人に対して、自立した日常生活が送れるようリハビリテーションに取り組んでいます。



1、2、3と数えながら片膝を胸に近づけ、ゆっくり戻します。



反対の足も同様に行いましょう。

股関節のトレーニング

(目安：10～20 回程度)

まずは椅子に腰掛け、両手を胸の前で組み、背筋を伸ばしましょう。

- 1、2、3と数えながら膝を胸にひきつけ、1、2、3と数えながらゆっくり戻します。背筋が曲がらないように注意しましょう。
- 2 反対の足も同様に行い、足を交互に動かしましょう。

ふくらはぎのトレーニング

(目安：10～20 回程度)

- 1 足を肩幅くらいに開き、椅子や壁などに手を添えましょう。
- 2 両方のかかとをゆっくりと上げ下げします。この時、お腹やお尻に力を入れるとより効果的です。

※ 回数は目安のため、最初は少なくても構いません。継続して行いましょう。
※ 運動後に痛みが生じた場合は、専門の医師やスタッフに相談し、身体に合った運動を指導してもらいましょう。



足を肩幅に開いて椅子などに手を添えましょう。



かかとをゆっくりと上げ下げしましょう。

Yelagala Memorial Hospital

3階 入院居室

木の温もりを
感じられるお部屋

木の風合いを生かした室内インテリアで、明るく暖かな雰囲気のあるお部屋です。



くつろいで過ごせる
快適な環境

コンパクトながら快適さと使いやすさを心がけた環境で、くつろいで過ごしていただけます。

個室のほかに2人部屋もご用意しています！

室料を抑えたい方には、リーズナブルな2人部屋もご用意しています。くわしくは地域連携室までお問い合わせください！



2020年春、
病棟設備を
リニューアル。
これからもより良い
地域医療を提供
いたします。

当院では2つの病棟で
地域のみなさんの健康を支援します。

- ・回復期リハビリテーション病棟
- ・地域包括ケア病棟

.....
外来リハビリテーションのご案内

当院では、外来リハビリも実施しています。体に痛みや不安がある方は、ぜひご利用ください。

- ・食事の時にむせてしまう
- ・膝の関節が痛くて歩きづらい
- ・退院後リハビリテーションがなくなるのは不安

※上記以外の場合もお気軽にご相談ください。



当院へのアクセス

○東急田園都市線 大井町線ご利用の場合

二子玉川駅から東急バス「玉11」多摩川駅行き
野毛桜堤停留所下車 徒歩約1分

○東急東横線 目黒線ご利用の場合

多摩川駅から東急バス「玉11」二子玉川駅行き
野毛桜堤停留所下車 徒歩約1分

○無料送迎バスあります

二子玉川駅より、ご家族向けの
送迎バスを運行しております。
くわしくはホームページをご覧ください。



時刻表	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時
駅発	40	40	40	30	30	30	10
病院発	-	30	30	20	20	20	00

- 診療科目 内科・整形外科
リハビリテーション科・脳神経外科
- 診療時間 月～土曜 午前 9:00～12:00
※曜日によって変動があります
- 休診日 月～土曜午後・日曜祝日・年末年始

医療法人 平成博愛会

世田谷記念病院
 SETAGAYA MEMORIAL HOSPITAL

〒158-0092 東京都世田谷区野毛2丁目30番10号
 Tel.03-3703-5100 Fax.03-3703-7730
www.setagayahp.jp info@setagayahp.jp

ご来院のみなさまへ

当院では新型コロナウイルス
(COVID-19) 対策としてご来院さ
れる全ての方に右記の対応をお願い
しています。入院患者さんおよび、
ご来院のみなさまを感染から守るた
めにご協力をお願いいたします。
世田谷記念病院 院長

体温測定

院内にお入りになる前に、全
ての方に体温測定の実施をお
願っています。係の者が不
在の場合は、お手数ですが受
付までお声掛けください。発
熱を認めた場合は係の者の指
示に従ってください。

マスクの着用

来院時にはご自分でご用意く
ださい。お持ちでない場合は
受付にお申し出ください。

手指消毒

院内にお入りになる前に必ず
アルコール消毒剤で手指消毒
をしてください。

院内での飲食禁止

飲食時にマスクを外すことにより感染リスクが高まるため、院内
での飲食禁止にご協力ください。(入院患者さんは対象外です)